

施策評価シート【分野別施策】

施策名				関係部			
1 -		活発な市民の交流を促進する		企画政策部、市民部			
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
友好都市との小学生交流事業の参加者数（年間）	人	-	19,179	0	11,950	12,009	320
国際交流活動推進事業参加者数（年間）	人	4,509	1,006	1,065	1,781	2,297	6,190
外国籍市民相談窓口人数（年間）	人	166	461	1,035	1,193	1,110	1,680
市民・大学交流委員会主催の事業数（年間）	事業	14	6	10	14	11	18

関連事業				
○市民・企業・大学等交流事業○国際交流活動推進事業○友好都市交流推進事業○多文化共生推進事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	6,935	10,851	11,952	16,288
執行率（％）	50.56	73.67	71.32	70.81

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・ローレンス市青少年派遣団との交流会やホームステイ、東海大学留学生ホームビジットを実施するとともに、国際交流員を活用した事業の実施により、市民の国際感覚と国際意識を高めることに寄与しました。また、カウナス市と姉妹都市提携の盟約を結び、提携記念イベントを実施しました。さらに、伊豆市との友好都市提携10周年記念事業のほか、小学生交流やうまいもんフェアなど、各友好都市と様々な交流事業を実施しました。 ・外国籍市民相談窓口にテレビ通訳サービス用タブレットを5台配備し16言語で対応したほか、入国管理・在留資格相談を実施しました。また、日本語教室のオンライン化に向けた取組を実施し、外国籍市民が暮らしやすい環境の整備に努めました。 ・平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光・産業の5つの推進部会により事業を実施し相互の交流が行われました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・ 友好都市・姉妹都市の魅力について、理解と関心を高める必要があります。
社会情勢や市民ニーズを捉えた様々な交流事業を実施し、友好都市・姉妹都市の魅力を発信するとともに、交流をより深める効果的な事業内容や実施方法について検討します。
- ・ 外国籍市民が地域で安心して暮らせることが必要です。
外国籍市民相談窓口において多言語による相談や情報提供を行うとともに、外国籍市民のための日本語教室の充実を図ります。また、職員が「やさしい日本語」で対応できるよう職員研修などを実施します。
- ・ 企業や大学の持つ知識やノウハウを活かし、市民、企業及び大学のつながりを強化する必要があります。
平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で事業を実施するとともに、多くの市民の参加を得るための工夫を凝らし、市民・企業・市がより一層活性化するような事業の展開に努めます。